

Makuhari's Memory

新たな出会いに感謝！ 仲間と過ごした充実の9日間

令和4年9月26日から10月4日までの9日間「選挙事務」研修に参加させていただきました。未だに新型コロナへの警戒が続く中での開催となりましたが、講師の皆様、感染症対策を講じていただいた市町村アカデミーの皆様のご尽力により、安心できる環境の中で無事に研修を受講することができ、心より感謝いたします。

講義では、選挙執行の実務、選挙制度をめぐる諸問題、政治活動と選挙運動等の幅広い内容の講義を経験豊富な講師陣から学ぶことができ、今後事務に取り組むうえで大変参考になりました。

特に「選挙の最終目標はミスなく終えること」「誰が何をし、誰がチェックするのかという体制づくり」というワードは非常に印象に残っています。

課題演習では、各班が発表に向けて、それぞれの自治体が抱えている課題や解決策についての意見交換や議論が活発になされ、夜遅くまで課題解決に向けて意見を出し合い、皆で協力して発表することができたことは研修のいい思い出となりました。

感染症対策の観点から、交流する機会が少なかったことは残念でしたが、限られた時間の中で全国から集まった仲間と情報交換し、親睦を深めることができたことは貴重な財産となりました。ここで出会えたご縁を大切に、今後も交流を続けていきたいと思えます。

最後に、代表幹事としての役割を果たせませんでした。講師の皆様、担当の鈴木教授、鈴木主査、副幹事の和知さん、矢野さん、一緒に研修に参加した各自治体の皆様、大変お世話になりました。



丸 和宏

千葉県木更津市
選挙管理委員会事務局選挙係長
(受講研修科目)
選挙事務
第36期第1組(令和4年度)

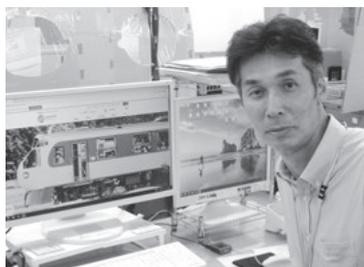
仲間と共に楽しく学べた11日間

私は昨年、51歳にして入庁後初めての税務業務家屋係長配属となりました。税業務はスッキリしている業務かと思っていたのですが、結構マニアックな業務であり、同僚に聞いて学びながら日々をこなしています。係長業務は、家屋評価のチェック、難題への対応・決断が必要となるため、一度基礎から学びたいと思う気持ちを持っていたところ、人事係から10月11日(火)～21日(金)10泊11日「固定資産税課税事務(家屋)」研修の受講機会が与えられました。研修開催までは、コロナ禍のため開催されるかどうか心配していましたが、感染防止の観点から交流面では一部制限がありましたが、北海道から沖縄まで、全国から111名が市町村アカデミーに結集しました。

研修では、大きく分けると講義・実地・班別討議が行われましたが、講義では、基礎的な内容から応用まで様々な事例について根拠法令に基づく説明があり、知識習得のために有意義な時間となりました。また、班別に分かれての討議では、課

題や悩みについて話すことで解決手法は様々であることが分かりました。全国の同種の職務に携わる仲間と意見交換できたことは今後にもつながるいい出会いであり、これからを考えるいい刺激となりました。

最後になりますが、今回の研修参加にチャンスくれた人事係や快く送り出してくれた職場の皆様、講師の皆様、感染症対策にご尽力いただきながら運営して下さった市町村アカデミー職員の皆様、受講生の皆様に感謝いたします。



清家 新生

愛媛県宇和島市
市民環境部税務課家屋係長
(受講研修科目)
固定資産税課税事務(家屋)
第36期第1組(令和4年度)

Makuhari's Memory

アカデミー卒業生が持続可能な循環型社会を推進する

まず、岩田裕美教授・八木遼主査をはじめ、健康で安全な研修の運営にご尽力いただいた全ての方々に御礼を申し上げます。また、副幹事の豊明市・樋口健太さん（写真中央）と新庄市・遠藤和也さん（写真右）、各班座長の皆様にはたくさんサポートしていただきありがとうございました。

研修では、環境省職員より最新の政策の動向や今後の展開、各分野で研究を進める大学教授よりSDGsの考え方、地域や住民とのパートナーシップづくりや合意形成のテクニック、また自治体職員より被災実例に基づく実践的な災害廃棄物処理などについて学んだほか、課題演習では【自治体の役割】についてグループ討議したなかで、各自治体の地域性や規模の違いによるごみ行政のそれぞれの特徴を知ることができました。

ごみ行政は住民の日々の生活に密接する必要不可欠な自治体サービスである一方で、世界的な環境問題にも影響する重要な役割を担っています。全国から集結した中堅職員39名の受講生は、各自

自治体が抱える課題を解消するため、または施策の更なる推進のため、この5日間の研修で習得した専門的知識と実務遂行能力をそれぞれの地域性にカスタマイズして活用し、持続可能な循環型社会の推進に尽力されるものと確信しています。

最後に、受講生の皆様へ。時節柄、ゆうあいラウンジではノンアルコール懇親会になってしまいましたが、マスク越しの皆様の笑顔が記憶に残っています。各地に旅行した際は遠慮せずに連絡しますので、1杯だけお付き合いください。



岡里 実

千葉県習志野市
都市環境部クリーンセンター業務課
業務係長
〈受講研修科目〉
廃棄物の処理とリサイクルの推進
第36期第1組（令和4年度）

一人でも多くの人に受講してほしい

令和4年10月24日から5日間、「フォローアップによる組織づくり」研修を受講しました。今年度の新規科目で、自分がついていけるか不安はありましたが、思い切って受講を希望しました。

研修ではアカデミカルな視点と実践的な視点両方の講義がありました。フォローアップ研究の第一人者と言われる講師から直接講義を受ける経験はとても貴重で、初めて聞く内容ばかりでした。

課題演習では、話が盛り上がり毎回とても白熱した討議になりました。講義中にも頻りにグループワークがあり、自分の職場の状況を振り返って言葉にすることでフォローアップとリーダーの関係やコミュニケーションの重要性を実感しました。意見を出し合いながらまとめていく過程もとても楽しく、最終日に講師の方から「自分も受講生の方に入りたかったのは初めてだ」という言葉をいただけたのは大変うれしかったです。

感染症対策のため制限がある中での研修でしたが、受講生同士の交流でも多くの学びがありました。人事・研修担当から消防や福祉の専門職まで多彩な顔触れが集

まったのは科目の特性かもしれませんが。私自身は採用からずっと学校教育部門でしか働いたことがなく、様々な地域、様々な部門の方と話すのがとても新鮮で、頭が柔らかくなったように感じました。この気持ちを今後も大事にしていきたいと思います。

最後になりますが、忙しい時に早く送り出して下さった職場の皆様、講師の皆様、そして本研修を企画して下さった市町村アカデミーの皆様には深く感謝いたします。ぜひ一人でも多くの人に受講してほしいと思う研修でした。



渡辺 直子

千葉県千葉市
教育委員会事務局教育総務部総務課
学校財務支援班主任主事
〈受講研修科目〉
フォローアップによる組織づくり
第36期第1組（令和4年度）